

「水面から観る阿武隈川歴史探訪会」

～阿武隈川舟運の歴史をカヌーで辿ります～

江戸時代に盛んだった阿武隈川舟運の名残や、昭和まで活躍した各地の渡し場跡をカヌーにより阿武隈川を下り、水上から歴史の面影を辿る「水面から観る阿武隈川歴史探訪会」を開催します。

探訪会は、阿武隈川沿川のカヌー愛好家等、阿武隈川のにぎわい復活を願う13団体が協働で開催するものです。

「阿武隈川にぎわいプロジェクト」では、このような河川をフィールドとした活動を応援しており、ここで紹介するものです。

1. 日 時 : 平成27年9月19日(土) 8:00~17:00(予定)

第1部 勉強会「阿武隈川舟運」 8:00~9:00

講師: 元福島市教育委員会文化課長 柴田俊彰氏

第2部 カヌーによる阿武隈川の歴史探訪 9:20~17:00

2. 場 所 : 第1部 福島市御倉町「御倉邸」(別添位置図)

第2部 阿武隈川 福島県庁~宮城県丸森町
(コース、中継地点等の詳細は別紙)

3. 参加団体 : 13団体(16艇) 別紙一覧のとおり
支援: 阿武隈川サミット実行委員会
渋谷建設株式会社

4. その他 : 悪天候、増水の場合は第1部の勉強会のみとなります。
台風や大きな地震などの場合は中止となります。
9月10~11日の豪雨による被災で、第3~4区間の国道349号が通行不能になっているため、探訪会は第2区間までとすることもあります。

【発表記者会: 福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問い合わせ先

【阿武隈川歴史探訪会事務局問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所

TEL: 024-546-4331(代表)

副 所 長 にへい 二瓶 あきひろ 昭弘 (内線204)
計 画 課 長 たかはし 高橋 たかし 隆 (内線261)



「水面から観る阿武隈川の歴史探訪会」

○開催の趣旨

江戸時代に盛んだった阿武隈川舟運や昭和まで活躍した渡し場を水上から辿り、阿武隈川の歴史に触れる探訪会「水面から観る阿武隈川の歴史探訪会」を開催。

探訪会では、平成 21 年度まで 3 年連続で開催された阿武隈川力又一駅伝の再開を願い、力又による航路調査も併せて実施。

○開催日時

平成 27 年 9 月 19 日（土） 8:00 ～ 17:00

○水面から観る阿武隈川の歴史探訪会

第一部 勉強会「阿武隈川舟運」（御倉邸） 8:00～9:00

開会（司会：福島河国 畑井課長）

あいさつ

福島河川国道事務所長

講話（8:05～8:50）

講師：元福島市教育委員会文化課長 柴田俊彰氏

講話内容

阿武隈川舟運のはじまりと変遷

舟運による物資の輸送

舟運と住民との関わり

質疑等（8:50～9:00）

第二部 探訪会 9:20～17:00

出発式（司会：福島河国 高橋課長）

9:20～9:30

あいさつ 福島市長 小林 香 様

注意事項説明 川リンピックチーム代表 森崎 達之助 様

スタート号令 福島市長 小林 香 様

第1区間 福島県庁前～摺上川合流点（10km） 9:30～11:10

第2区間 摺上川合流点～広瀬川合流点（13km） 11:10～13:30

第3区間 広瀬川合流点～八島商店（8km） 13:30～15:20

第4区間 八島商店～川張地区（6km） 15:20～16:20

閉会（司会：福島河国 高橋課長）

16:40～17:00

あいさつ 仙台河川国道事務所 栗田副所長

記念撮影

解散

参加チーム一覧（16艇）

- 川リンピックチーム
- リバースネットチーム
- マルベリー・こおりシニアチーム
- マルベリー・こおりセピアチーム
- 福島市役所チーム
- 阿武隈OYAG' Z・ α チーム
- 阿武隈OYAG' Z・ β チーム
- いいざかサポーターズクラブチーム（藤原）
- いいざかサポーターズクラブチーム（佐藤）
- いいざかサポーターズクラブチーム（金沢）
- いいざかサポーターズクラブチーム（木戸）
- 福島民報社チーム
- 福島民友新聞社チーム
- 岩崎清次となかまたちチーム
- 福島河川国道チーム
- 仙台河川国道チーム

水面から観る阿武隈川歴史探訪会 (勉強会会場・探訪コース図)



勉強会会場・探訪会スタート地点



第1中継地



第2中継地



第3中継地



ゴール地点

